

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	飯山市立城北中学校普通教室断熱改修プロジェクト
事業主体 (連絡先)	飯山市 公民連携推進課
事業区分	(5)環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,000,247円(うち支援金:3,064,000円)

事業内容

飯山市ではカーボンニュートラルの推進に向けた取組みを進めており、その中で省エネルギー化、建物の断熱化の取り組みが大事だと考えている。一方公共施設の断熱化も課題の一つであり、市内の小中学校ではエアコンの設置は完了しているものの建物の断熱性能が十分でなく、エネルギーの負荷が大きい。このため中学校の普通教室を題材に、ワークショップ形式で断熱化を行い、中学生、高校生、一般の方に参加いただいた。環境・断熱の知識を得ていただき、また断熱の効果を「体感」していただくことで理解が深まることを期待し、効果が実感できる夏に事業を実施した。

- ・断熱セミナー 7月28日 開催
- ・断熱ワークショップ 8月6・7日開催

事業効果

- ①断熱セミナー、断熱改修ワークショップを通じて、地域のみなさん、中学生、高校生に対して、カーボンニュートラルの取り組み、省エネルギーについて、そのための建物の断熱改修について理解を深めていただくことができた。
- ②実際に省エネルギーに向けた建物を断熱化する内容、工程をワークショップの参加者に対して、実際に作業しながら丁寧にレクチャーできた。
- ③中学校の教室を使用したワークショップを行うことで、完成した後も他の建築物に比べ、様々な方に断熱化を見ていただけることがメリットである。環境教育が、学校の教員、生徒、保護者、そして卒業生となって、広がっていくと考える。
- ④ワークショップ当日、行政・事業者の見学者も多く、他の公共建築への広がりが期待できる。

今後の取り組み

- ・今後も飯山市では公民連携という観点から、行政と飯山市建設業協会、長野県建築士会、飯水岳北建設労働組合、中学生、高校生といった産官学が連携しカーボンニュートラル、省エネルギーについて推進していきたい。
- ・建物の断熱化改修ワークショップについては、ワークショップ形式で引き続き公共建築で行いたい、参加・協力体制の範囲を広げ、その後の地元企業への就職等も視野に、特に若い世代、北信地域の高校生に参加してもらうよう検討していきたい。



【ワークショップの様子】

【目標・ねらい】

- ①カーボンニュートラルの推進
- ②断熱化の建物改修の理解促進
- ③省エネルギーの環境教育
- ④建物の断熱化について PR

※自己評価【A】

【理由】

- ・北信地域では、中学校校舎での断熱改修ワークショップは初めての試みであり、環境への意識の醸成に効果があったと考えられる。
- ・ワークショップには、地域の中・高生、上田高校 OG、そして阿部県知事にも現地視察(参)していただき、外部への PR、広がりがあった。